

平成24年度「地域づくり人育成講座」
開催地: 全国市町村国際文化研修所(JIAM)
カリキュラム詳細案

1. 概要

1. 日程: 2013年1月9日(水)～2013年1月11日(金)
2. 場所: 全国市町村国際文化研修所(JIAM)(滋賀県大津市)
3. スタイル: 「講義」・「演習」で構成される2泊3日集中型研修
4. 目的:
各地域で地域づくりまたは、地域の人づくりの具体の実践を開始するための知識習得ときっかけづくり。実践を重視する中級編との違いを明確にして、基礎的な視点・知識の修得を重視したプログラムとする。
5. 構成:
①導入→②実践事例に触れる→③地域づくり成功のポイントを知る→④実践事例の成功要因を分析する→⑤実践に向けた具体的なスキルを習得する→⑥成果発表と振り返り
6. 対象: 市区町村職員及び市区町村等行政機関が推薦する地域づくりに取り組むNPO関係者等
7. 研修費用: 未定

2. テキスト

「人材力活性化プログラム」「地域づくり活動リーダー育成のためのカリキュラム」(総務省 人材力活性化研究会)の考え方をベースとして、講師が講義内容に合わせてレジюме・資料を作成しテキストとして活用。

3. 実施カリキュラム 詳細

■ 第1日目

1. 【講義1: 導入】(13:00～14:10)

(1) 「地域の人材力」総務省(15分)

「地域の人材力」向上の必要性和総務省のこれまでの取り組み、参加者への期待について講義する。

(2) 「地域の人づくり」NPO 法人 FUSION 長池 富永講師(30分)

「人材力活性化プログラム」の策定をはじめとした、人材力活性化に係る取り組みについての紹介に加え、本講座のねらいと今後の展開について説明する。

(3)アイスブレイク(15分)

緊張をほぐすアイスブレイクと研修にのぞむ決意表明を兼ねて、自己紹介と研修で学びたいことの表明を行う。3～4名のグループをつくりグループ内で1人3分程度実施。終了したグループから休憩とする。

2.【講義2:実践事例に触れる】(14:25～15:35)

「『人は誰でも主役になれる』～居場所と出番づくり」いりどり 横石講師

葉っぱ(つまもの)を中心にした新しい地域資源を軸に地域ビジネスを展開してきた講師の経験をもとに、人を主役にする地域づくりのポイントと、地域リーダーの条件について講義する。

3.【講義3:実践事例に触れる】(15:50～17:00)

「地域再生～行政に頼らない感動の地域づくり～」柳谷自治公民館長 豊重講師

自治公民館長として、行政の補助金に頼らない「全住民参加型の地域づくり」を展開している講師の経験をもとに、行政に頼らない自立した地域づくりのポイントと、地域人材の力を引き出し、活動に巻き込むための勘所を講義する。

4.【グループ・トーク】(17:00～17:30)

(1)本日の研修の振り返り(30分)

3～4名のグループで「気づいたこと、学んだこと」、「実践に活かしたいこと」について1人2～3分程度で意見を述べ、その意見に対してメンバー間で意見を交換する。セッションを開始する前に、グループ内で司会を決め、全員が意見を述べるように進行する。

(2)全体での共有(1分×グループ数)

翌朝各G1分程度で意見交換の内容を報告し、参加者間の気づきを共有する。

■第2日目

5.【講義4:実践事例に触れる】(9:25～10:35)

「都市郊外での地域活動と人材とは」NPO法人FUSION長池 富永講師

“都市郊外”の進行住宅地と既存の住民との間で地域づくりの活動を実践されてきた講師の経験をもとに、どのような点に留意しながら地域活動を展開すべきか、その要諦を講義する。

6. 【講義5: 地域づくり成功のポイントを知る】(10:50~12:00)

「地域をつくる人をつくる！-地域活性化における人材力の活性化について」慶応大学 飯盛講師

先進事例の成功要因について、「個々の人材の活かし方」「リーダーの役割を果たす人材」のほか、「リーダーを支えるための人材」など地域づくりにおける人材力の観点から講義する。

7. 【分科会: 実践事例の成功要因を分析する】(13:00~17:00)

参加者への事前アンケートにより、経験、参加動機等を考慮して、以下の3分科会に分かれて、実践事例の成功要因を分析する。

【分科会①: 実践内容を構想する(都市の地域づくり)】NPO 法人 FUSION 長池 富永講師

「『都市郊外での絆づくり』に学ぶ地域課題の解決方法」

【分科会②: 実践内容を構想する(農村地域の地域づくり)】柳谷自治公民館長 豊重講師

「『やねだん』に学ぶ地域経営」「『やねだん』に学ぶ地域経営」

【分科会③: 実践内容を構想する(ビジネスを核にした地域づくり)】

「地域づくりのマネジメントー効果的なプラットフォームを設計するためには」慶応大学 飯盛講師

■各コース共通の進行(案)

(1) 講義・説明(50分)

各講師より、自身の地域づくり活動のより詳細な実践事例紹介や、先進事例の概要を取りまとめたケースの紹介を行う。

(2) 個人ワーク(40分)

各講師より紹介を受けた事例について、下記のテーマについて各人の意見をまとめる。

① 成功要因の分析

「カリキュラム」に定義されている地域づくりリーダーの下記要件の視点から、それぞれの取り組みの成功要因をまとめる。

(ア) 活動(事業)の企画・立案

(イ) 活動(事業)の運営

(ウ) 必要な人材(組織)の巻き込み

(エ) 情報発信等によるつながり

- ②今後の展開への提言
- ③自身の住む地域への水平展開の可能性と課題

(3) グループ共有・意見交換(80分)

4～5名のグループをつくり、各個人の検討内容をもとに、グループとしての見解をまとめる。講師は適宜ディスカッションに参加する。模造紙もしくはホワイトボードに集約した意見を成果物としてまとめる。

(4) クラス共有・講師講評(40分)

代表者数名に全体発表または、上記の成果物をポスターセッション形式で掲示し全体で共有する。その後、講師・参加者間で意見交換を行い、重要なポイントについて共有する。

8. 【グループ・トーク】(17:00～17:30)

(1) 本日の研修の振り返り(30分)

(2) 全体での共有(1分×グループ数)

※初日と進行内容は同じ。

※メンバーを1日目と入れ替えるかどうかは要件等。

9. 【講師との直接対話】(19:00～21:00)

夕食後、参加者が自分の問題意識にあわせて講師を選択し、参加者からの質問に講師が応える形式で対話を行う。少人数制(10名程度が理想)とし、自発的な挙手による質問をベースとするが、質問が出ない場合は、事前アンケートで参加者が挙げた質問内容について講師がコメントする。参加者の人数によっては、19:00～20:00、20:00～21:00の2回のセッションに分けて実施する。

■ 第3日目

10. 【講義6+演習:実践に向けた具体的なスキルを習得する】(9:25～10:35)※ 日程要調整

「人を巻き込む話し方・聴き方～ワンランク上の話上手、聴き上手になろう～」森ゼミ主宰 森講師

地域の様々な立場の人々を巻き込み、地域づくりを行う際に必要な、話し方・聴き方のコミュニケーションスキルのポイントを講義する。可能であれば、傾聴演習などスキルを実践・訓練するセッションをつくる。

11. 【成果発表と振り返り】(10:50～12:00)

第2日目に構想した実践内容を実現させるために、地域にもどってからまず何を実行するか、行動宣言する。

■進め方

(1)個人ワーク(20分)

受講生全員が3日間の研修での体験を踏まえて、「自分が地域で取り組むべき具体的な行動計画」をまとめる。書式は自由。

(2)グループ共有(15分)

3～4名のグループでそれぞれの「構想」と「行動計画」を1人4～5分程度で発表する。

(3)クラス共有・講師講評

各グループの代表者数名が全体で発表する(20分程度)。その後、飯盛・富永・豊重各講師から講評ならびに激励を行う。

以上